

令和3年の管内における**労働災害は150件**で前年と同数となり、畜産業において**死亡災害が1件発生**しました。過去最少であった平成25年の128件から徐々に増加傾向にあります。

業種別でみると**製造業が全体の1/4**を占め、製造業の中でも**食料品製造業が26件**、製造業の約6割強を占めています。

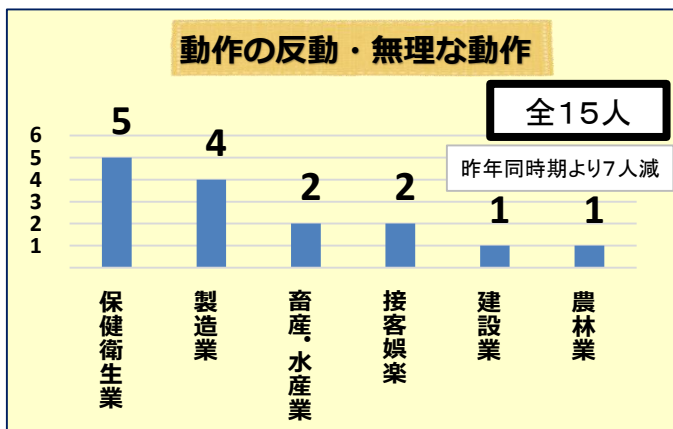
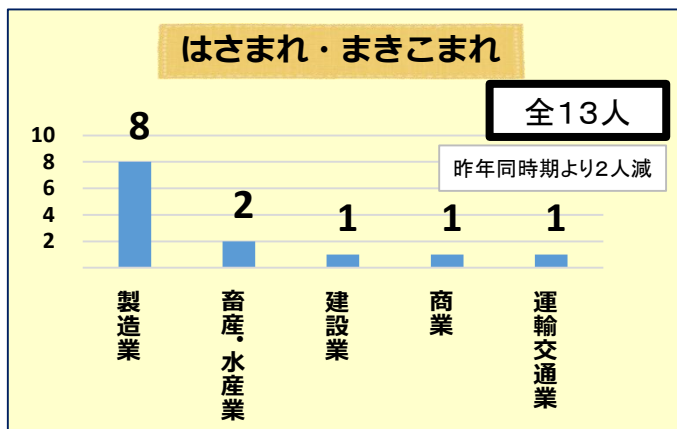
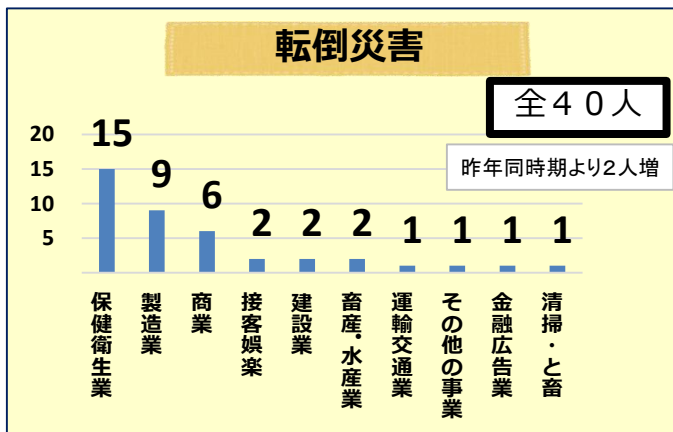
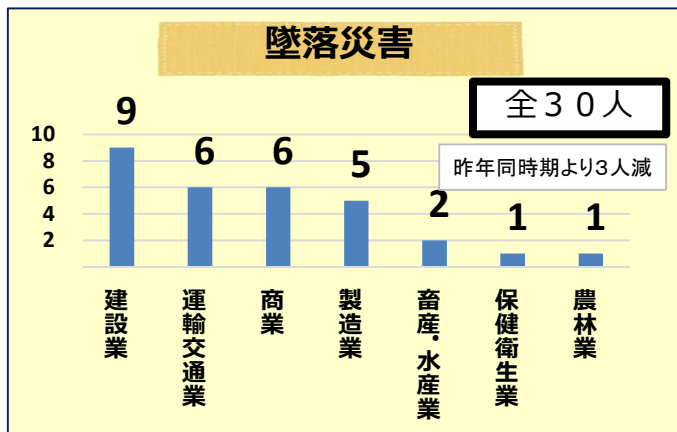
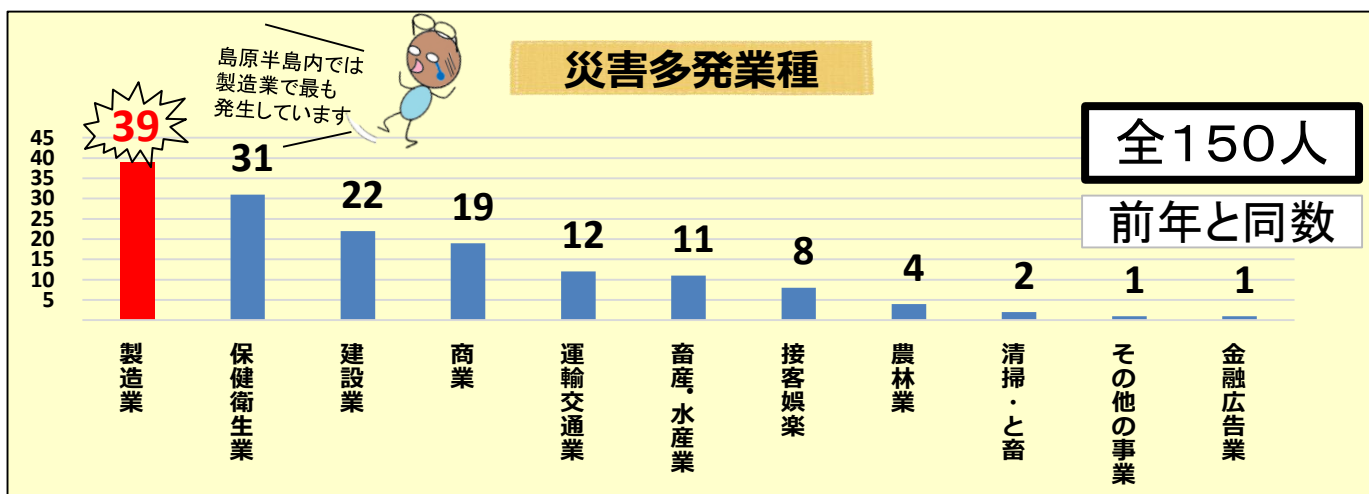
事故の型別でみると、転倒災害、墜落災害、動作の反動・無理な動作などで多く発生しています。

「**墜落災害**」では、高さが2m以下などで多く発生し、脚立・荷台からの墜落が見られます。

「**転倒災害**」では、床面での滑りやコンテナなどに躓いて転倒に至っている災害が多く見られます。

「**挟まれ・巻き込まれ**」では、加工機械やコンベヤーなど稼働している個所に手指を挿入し負傷する災害が見られます。

「**動作の反動・無理な動作**」では、重量物を扱う際、不自然な姿勢で作業を行った際、腰などを痛める災害が多くみられます。



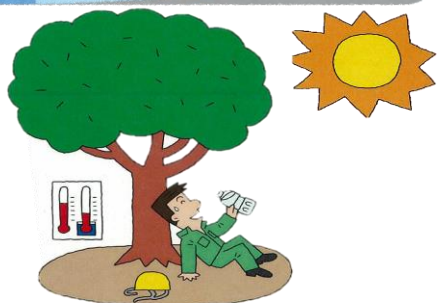
STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン

今年も暑くなりそう...



職場における熱中症では、毎年約20人が亡くなっています。「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」を展開（令和4年5月～9月）し、職場での熱中症予防対策に取り組みましょう。

熱中症予防情報ポータルサイトをご活用ください。



職場の熱中症予防のためのチェックシート	
☑ あなたの職場の対策は万全か、自主点検してみましょう!	
<input type="checkbox"/> ①WBGT値(暑さ指数)を把握していますか	➡ WBGT基準値を大幅に超える場所で作業を行わせる場合は、単独作業を控え、休憩時間を長めに設定しましょう。
<input type="checkbox"/> ②休憩場所は整備していますか	➡ 涼しい休憩場所を設け、身体を適度に冷やすことのできる物や設備(氷、おしぼり、シャワー等)なども備えましょう。
<input type="checkbox"/> ③緊急時に搬送を行う病院を把握していますか	➡ 近隣の病院、診療所の情報を把握した上で、救急処置の手順を関係者に周知しましょう。
<input type="checkbox"/> ④熱に慣れ、環境に適應するため、暑熱順化の期間を設けていますか	➡ 労働者が暑さに慣れていない・適應していない場合は、7日以上かけて高温多湿の環境での作業時間を次第に長くしていきます。
<input type="checkbox"/> ⑤自覚症状の有無にかかわらず、労働者に水分・塩分を摂取させていますか	➡ 水分や塩分の摂取を確認する表を作るなどして摂取状況を確認し、徹底を図りましょう。
<input type="checkbox"/> ⑥労働者に、透湿性・通気性のよい服や帽子を着用させていますか	➡ クールジャケット、日よけ用の帽子、冷却グッズなどを活用しましょう。
<input type="checkbox"/> ⑦睡眠不足・体調不良など労働者の健康状態に配慮していますか	➡ 朝礼などの際に、労働者の体調を確認し熱中症の発症に影響を与えるおそれがあるかを確認しましょう。
<input type="checkbox"/> ⑧熱中症を予防するための労働衛生教育を行っていますか	➡ 作業管理者や労働者に対し、熱中症の症状や予防方法、緊急時の救急処置等について教育を行いましょう。
<input type="checkbox"/> ⑨身体を冷却できるアイススラリー(流動性の氷状飲料)などを準備していますか	➡ 体温上昇を抑えるため、アイススラリーなどを作業開始前や休憩時間に摂取してプレクーリングを行いましょう。

新型コロナウイルス感染症による労働災害も労働者死傷病報告の提出が必要です。

労働者が就業中に新型コロナウイルス感染症に感染・発症し、休業した場合には、労働者死傷病報告の提出が必要となります。

事業場で働く従業員の皆様が新型コロナウイルス感染症により休業した場合には、遅滞なく、事業場を所轄する労働基準監督署に労働者死傷病報告を提出してください。

職場における新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するために



チェックリストを活用し、職場における感染拡大防止のための基本的な対策の実施状況についてご確認ください。

労働者死傷病報告 記入例

様式第23号(第7表関係) (表面)

810001 13111112345600000000 医療、福祉業

コウセイカイロウドビョウイン

医療法人 厚生会 労働病院

千代田区霞ヶ関

100-1100 7:平成 9:令和 9020401 1500

ロウダウ タロウ 7010101 (32) 労働 太郎 看護師 12

3 新型コロナウイルス感染症による肺炎 呼吸器 勤務地内

救急病棟に勤務中、〇月〇日に救急患者(後日、PCR検査の結果陽性判定)の吸引処置に当たった看護師に4月1日から発熱の症状が見られたため、PCR検査を実施したところ、4月2日に陽性判定となり同日から入院したもの。勤務中は防護衣とマスクを着用していた。

被災者が複数いる場合は、被災者ごとに報告する必要があります。

法人ではなく、事業場全体の労働者数を記入してください。

陽性判定日ではなく、傷病名に記載した症状が現われた日付を記入してください。

記載例のとおりに入力してください。 ※医師の診断結果が記載例と異なる場合にはその内容を記入

左記の災害発生状況及び原因を記載する場合は、必ず記載してください。

感染から発症までの経緯を簡潔に記入してください。

事業場を代表する者など、報告権限を有する方が記入してください。

令和2年 4月10日

事務局長 厚生 太郎

事業場職氏名 医療法人 厚生会労働病院 病院長 安衛 法子

関ヶ岡 労働基準監督署長殿

受付印